



港南小学校だより

12月

二十四節気・七十二候

<12月の二十四節気>

- ・12月7日 大雪
天地閉塞雪降る
- ・12月22日 冬至
冬の最中日南下の極

<12月の七十二候>

- ・閉塞成冬
そらさむくふゆとなる
→天地の気が塞がって冬となる。
- ・熊蟄穴
くまあなにこもる
→熊が冬眠のために穴に隠れる。
- ・鮭魚群
さけのうおむらがる
→鮭が群がり川を上る。
- ・乃東生
なつかれくさしょうず
→夏枯草が芽を出す。
- ・麋角解
きわしかのつのおつ
→大鹿が角を落とす。
- ・雪下出表
ゆきわたりでむぎのびる
→雪の下で麦が芽を出す。

「やる気」のスイッチ

校長 船木 亮作

校庭の木々の深まりにつれ、寒さも一段と厳しくなり、冬の到来がすぐそこに近づいてきました。早いもので、今年も一か月を残すのみとなりました。オータムフェスタには、ご来校いただきありがとうございました。後までご鑑賞いただき、子供たちの成長を実感されたのではないかと思います。

さて、本校では、これまでも子供たちの自己肯定感を高めることに取り組んできました。それは、何事に対しても自分に自信をもつてこれからの世の中を生き抜いて欲しいとの願いからです。「早くしなさい」「ちゃんとしなさい」「勉強しなさい」この言葉は、子供の自己肯定感を破壊する一番の呪いの言葉だそうです。この言葉を言われるたびに、子供たちは「自分はダメなんだ」という気持ちに陥りその結果、自己肯定感が低下していき、自分に自信がもてず、失敗を恐れ、何に対しても前向きに取り組めなくなるそうです。

学力も同様に何事も「自発的」にそして「前向き」に取り組むことによって勉強等も楽しく取り組みやすくなるようにあります。しかし、常に「強制」されていると心がマイナスの状態になり、やる気のスイッチはいつまでたっても入っていきません。先の呪いの言葉を止め、子供の自己肯定感を高めるための「魔法の言葉」を使うようになるとプラスの方向に向かいます。「魔法の言葉」とは「褒める」「認める」「信頼する」などプラス面に意識をフォーカスする言葉です。これらで心が満たされた子供たちは自己肯定感が高まり、自分を信頼することができ、前向きになり結果、勉強等にも結果が伴ってきます。

本校でも「いいね！」という合言葉を使って子供たちの自己肯定感を高めることも行っています。この言葉は、「認める」という意味が込められています。ですから、「頑張れ！頑張れ！」という言葉よりも「頑張っているね」という言葉により、認められているという意識が生まれてきます。これらの言葉を継続して耳にしている子供は、尊重されていることを実感することができ、このように子供たちの心を上向きにすることで「やる気」のスイッチに繋がっていくと思っています。

教育デザインラボ代表理事の石田勝紀氏によると、最近の保護者は「子供を何とかしよう」としてしまっている。そして、何とかしようと思えばするほど子供たちが逆に進んでしまっているそうです。大切なのはコントロールしないことで、保護者自身が楽しむことだそうです。また、保護者の「不安の目」が子供たちへ伝染し、子供自身も不安感が募ってしまうそうです。

我々、教師も子供を何とかしようという厳しい顔つきになってしまっていることがあります。ですから、子供たちの前では「笑顔」で接し、子供たちに安心感を与えられるよう心掛けていきたいと思えます。

さて、我が国では、毎年十一月十日(四日)と十月を最終日とする一週間を人権週間と定めています。毎年、色々な場場で人権、いじめについて子供たちに話をしてきました。顔立ち、頭髪、体型、肌の色、あだ名、障害があることなどで相手が嫌がること言ったり、仲間はずれにしたりしてはいけないことを今後繰り返し話ししていきます。ご家庭でも、この機会にお子様と人権について話し合ってみてください。

今月の生活目標

「決まりを守って生活しよう」

登校時刻は、学校の決まりです。普段から少しやんちゃな五年生の彼は、いつもの朝より十分遅れて教室に入ってきました。その他の児童は、すでに着席しており、誰もがはつきりと分かる「遅刻」の状況でした。担任が「どうして遅刻したの？」と聞くと、「特に理由はありません。」と言います。

翌日、一年生の保護者から連絡帳が届きました。そこには「昨日の朝、登校時に我が子が横断歩道で転んで泣いていた時、高学年らしい男の子が助けてくれて、教室の近くまで付き添ってくれました。その子はきつと遅刻したことでしようし、担任の先生に怒られていたら可哀想です。」と書かれていました。

担任は彼のことでお礼がしたい。遅刻しても理由を言わない彼です。担任は事実を確かめ、彼のことを級友の前で褒め、学級通信に書いて家庭でも共有してもらいました。私が十年前に担任した児童の話です。本校は「豊かな心」の育成を目指して全教職員が全力で取り組んでいます。彼のような豊かな心をもった児童が一人でも多く育つことを信じています。

(生活指導主幹 小清水 孝)



表彰

第29回 山の手南部ミニバスケットボール大会
男子交流戦の部
準優勝 港南ミニバスケットボールクラブ
女子交流戦の部
準優勝 港南+お台場

第36回 メトロ児童絵画展
佳作 奥 颯佑 (1年)

第29回ちびっ子サッカーフェスティバル
小学生1年生の部
優勝 港南FC-Bチーム
準優勝 港南FC-Aチーム

第15回 子どもしぜん科学大賞
夢熱賞 馬越 慧侑 (5年)

第7回 オープントーナメント群馬県空手道選手権大会
優勝 山内 理仁 (1年)

副校長より

例年より暖かい秋ではありましたが突然の冷え込みで冬の訪れを感じるようになりました。十二月は「師走」とも呼ばれ、語源は確かではありませんが、「師」お坊さんのお経を読むために走り回る。四季が終わる・年が終わるという意味で、年果つ(としはつ)の読みが変化して「しわす」となった。等と様々ですが、一年の終わりの忙しさを表すぴったり言葉のように感じます。近年は元旦営業等と一年中賑わいを見せる世の中ではありますが、十二月

より年末年始と皆さんはいかが過ごされるでしょうか。さて、本校の今年を振り返ると運動会、オータムフェスタ、学校公開や総合防災訓練、水辺フェスタ等、学校行事や地域行事へたくさんのご参加とご協力をありがとうございました。子供たちと一年間を振り返り自分たちの成長を自覚させ、新年または新年度へ向けて目標を立てられるよう指導してまいります。

(副校長)

吉岡 慎
原島 謙一

12月の行事予定

1日	土	土曜授業日
2日	日	
3日	月	全校朝会、委員会活動、セーフティタイム
4日	火	4時間授業下校時刻変更【13:25下校】 ★3年1組、5年5組は5時間授業【14:40下校】
5日	水	基礎なし・下校時刻変更【13:15下校】
6日	木	体育朝会・児童集会
7日	金	
8日	土	海外派遣一次選考会
9日	日	
10日	月	全校朝会、クラブ活動、音楽鑑賞教室(5年)
11日	火	こどもサミット(6年)、げんきアップタイム 保護者会(わかば・2・3・5年) 15:00
12日	水	
13日	木	音楽朝会 保護者会(1・4・6年) 15:00
14日	金	
15日	土	土曜授業日 フレンドリータイム
16日	日	
17日	月	全校朝会
18日	火	げんきアップタイム
19日	水	6年生下校時刻変更【14:40下校】
20日	木	体育朝会・児童集会、社会科見学(6年)
21日	金	
22日	土	ふれあいクリーン作戦
23日	日	天皇誕生日
24日	月	
25日	火	終業式、給食終、基礎・清掃なし 下校時刻変更【14:20】

☆12月26日(水)～1月7日(月) 冬季休業日☆

この他に、避難訓練(予告なし)があります。

1月の主な行事予定

- 8日(火) 始業式、4時間授業・土曜時程
- 9日(水) 給食始、書き初め会(1・2・3・5年)
基礎なし下校時刻変更【13:10下校】
- 10日(木) 発育測定始、書き初め会(わかば、4・6年)
- 15日(火) 委員会活動、セーフティタイム
- 18日(金) 学校公開①、書き初め展始
- 19日(土) 学校公開② 道徳授業地区公開講座4校時
- 21日(月) クラブ活動
- 22日(木) わかば学級校外学習
- 25日(金) ユニセフ週間始、書き初め展終
- 26日(土) 土曜授業日
ふれあいクリーン作戦(4年)、英語検定
- 31日(木) 保護者会・お茶会(わかば)

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	24	222	234	210	198	189	191	1268

Autumn Festa

二年生は、明るく元気な姿が普段から見られます。そのため、二年生のイメージに合わせて、「太陽のサンバ」を選曲しました。口を大きく開けて歌ったり、リズムにのって笑顔で手を叩いたりすることを意識して歌い上げることができました。

合奏では、「オーラリー」を演奏しました。なかなかリズムが合わず、繰り返し練習をしていき、徐々に皆で心一つにして演奏できるようになりました。

この行事を通して、皆で協力する大切さを感じることができました。

(二年担任 渡邊 希恵子)

一年生は、「よるこびのうた」をパートに分かれて鍵盤ハーモニカで演奏し、「手をつなごう」の歌を元氣よく歌いました。初めての鍵盤ハーモニカでは、息を吹くタイミングが合わなかったり、鍵盤を押さえる指遣いが難しかったりした様子がありました。しかし、日々たくさん練習して、当日はなめらかに演奏できるまで上達できました。

オータムフェスタを通して、子供たちはみんなで声を合わせて歌う楽しさを経験し、一生懸命に練習に取り組むことの大切さを感じるようになりました。

(二年担任 大川 信子)

四年生は、学年スローガンである「ハピネス」を合言葉に、「心一つに楽しく演奏し、聴いている人にハピネスを届けよう」と、意欲的に取り組む姿がありました。斉唱「雨のち晴レルヤ」では、きれいに歌う部分と、元氣よく歌う部分を意識したり、合奏「お江戸日本橋」では、同じ楽器の友達と協力したりして練習しました。

本番を終え、満足できる演奏ができたことを誇らしげに話す子供たちの姿が嬉しかったです。この経験を生かし、高学年への準備をしてまいります。

(四年担任 並木 恵美子)

三年生は、斉唱「Smile again」合奏「Let's go」をしました。斉唱では学年目標である「スマイル」笑顔で歌うことを、合奏「Let's go」ではリコーダーの指遣いや息遣いを意識しながら練習を積み重ねてきました。

特にリコーダーの練習は頑張りと、休み時間に自主的に練習に取り組む姿も見られました。

本番では練習の成果を発揮することができ、聞く方に感動を届けることができたと思っております。今後も三年生全員で心一つに全力で様々なことに取り組んでいきたいです。

(三年担任 三和 あかね)

六年生は、曲を通して伝えたい「思い」や「大切にしたい言葉」などを、一人一人が音楽の授業の中で膨らませることからオータムフェスタが始まりました。

「思い」が確かなものになるにつれて、表情や歌い方、演奏の仕方に変化が出るようになり、さらにその思いを一つにして届ける工夫をも自分たちで考えました。

音楽はもちろん、大きな何かをなし遂げるには、一つ一つ丁寧に、他の人の良いところを認め、吸収し、そして限界を決めずに努力することを学びました。そして、素晴らしいものを作り出すことができるといふ大きな自信を得たことと思います。卒業に向けてこの経験を存分に生かし、これからも様々なことに挑戦していきます。

(六年担任 坂口 千尋)

五年生は、オータムフェスタ実行委員を中心として、「心を込めて届けよう」音を楽しんで」というめあてを立て、練習に励んできました。本番は音楽的な表現を大切にしながら、聴いている人達に思いを届けようと真剣に歌うことができました。

練習後には、一人一人がしっかりと振り返りを行いました。実行委員を中心として、友達の良いところを発表しながら練習を進めることで、友達よさを認め合い、友達から学ぶ姿勢が見られるようになりました。

オータムフェスタを通して身に付けた力を今後の学校生活に生かし、最上学年に向かってより一層成長していければと思います。

(五年担任 栗田 純)

音楽クラブは「栄光の架け橋」を演奏しました。たくさんのお客さんを目の前にしてとても緊張しましたが、二十五人で心を合わせて演奏することができました。

本番を迎えるまでの練習は楽しいことばかりではありませんでした。練習し、練習を積み重ねたことが子供たちの大きな力になったのだと思います。

クラブ活動以外でも身に付けた力を生かして活躍してほしいと思います。

(音楽クラブ担当 柿島 沙織)



わかば学級は、合唱「歌よありがとう」合奏「メリーピンズドレー」を発表しました。一人一人が大きな声で歌い、楽器を演奏して、ありがたの気持ちをお届けすることを意識して練習してきました。

本番では、指揮者を見ることに気を付けたり、友達の音をよく聞いて演奏したり、しっかりと目標をもって取り組むことができました。

「みんなで歌うと楽しいな」「また演奏したい」などの感想も聞かれ、みんなで音楽をつくり上げる素晴らしさを味わうことができたことを嬉しく思います。

(わかば学級担任 渡辺 真理)

委員会紹介

栽培委員会

栽培委員会では、季節の花を咲かせて港南小学校に彩りを添える仕事をしています。春から秋にかけては、日草、インパチェンス、ペチュニア、キンギョソウ等の花を育てました。子供たちは、「切り戻し」「花がら摘み」の方法を覚え、花を長い期間、観賞できるよう丁寧に世話をしてきました。冬から春にかけては、ノースポール、パンジー、ビオラ、球根類を栽培しています。卒業式や入学式に向けて、美しい花がたくさん咲くよう、寒い季節も活動に専念しています。

(栽培委員会担当 遠山 晶子)



保健委員会

「港南小のみなさんが、安全で健康な学校生活を送れるようにサポートする」をテーマに活動しています。週ごとの当番活動では、中休みに流しの石けん点検と補充、水質検査をしています。毎月の委員会では、学校の保健に関する課題を話し合い、解決策を考えています。一学期は「蛇口を上にして、ほこりがたまるのが心配」「流して遊んでいる子がいて廊下が濡れているところを見たことがある」「手を洗ってハンカチで拭かずに水をはらっている」などが話題になりました。そこで蛇口の扱い方のポスターを作ったよびかけたり、ハンカチ点検表を作ったりしました。

後期も学校の課題を共有し、保健委員会が貢献できることを考えて活動していきます。

(保健委員会担当 嶋岡 保子)

環境委員会

環境委員会では、ペットボトルキャップ集めや古紙回収集めを行っています。各家庭で集めていただいたペットボトルキャップを回収し、再利用へと回しています。毎年、たくさんさんのキャップをお持ちいただいていた方がとうございませう。今年度もより多くのペットボトルキャップを回収していきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。また、環境に役立つことも考えながら活動していきます。委員会の児童で意見出し合いながら自分たちにできることを考えていきます。

(環境委員会担当 茂垣 夢佳)

給食委員会

給食委員会は、毎月の給食目標のお知らせ、給食時に献立等を紹介するヘルシーロボメモの作成、大階段上にある掲示板の更新が主な仕事内容です。今月は食育月間の一環として、「もぐもぐチャレンジデー」が設定されています。給食委員会も、全校児童の意識を高めたり、食に関心をもちてもらったりするために、給食の時間に食に関わるクイズを出す取り組みを考え、取り組んでいます。今後も港南小学校の児童がよりよく食と関わるように、委員会の児童と仕事を進めていきます。

(給食委員会担当 土井 沙也香)

土井 沙也香



卓球クラブ

卓球クラブは、三十三人という大勢の児童で構成されていて、体操スペースで活動しています。多くの児童がいるので、自分の技術に合った友達と練習することが出来ます。できるようになった技を見合ったり、ラリーを続けたり、色々な楽しみ方をしていきます。定期的にシングルやダブルスで試合を行い、勝負することでもっとうまくなりたいと意欲や技術

術の向上につながっています。六年生が軸となりクラブを運営しているだけでなく、四年生が進んで後片付けをするなど、各学年が自分の役割に目を向け、力を発揮する場面が増えてきました。今後は、下学年も企画に参加できる卓球クラブにしていきたいと考えています。

(卓球クラブ担当 中原 真)

和の心クラブ

和の心クラブでは、華道、茶道、浴衣の着付け、百人一首といった活動を行っています。

子供たちは、普段の学校生活ではなかなか体験することができない活動に楽しみながら取り組んでいます。これらの体験を通して礼儀作法を知り、日本の伝統文化の良さに気付き、自国の文化に関心をもつ機会になればと思っています。子供たちは、和室に入る



(和の心クラブ担当 大川 信子)